

協働パイロット事業 (H28) 企画提案書

団体名：考える会「ようこそ」

1 事業の名称

DV 防止に向けた啓発事業

大切なわたしを考える会へ「ようこそ」
…ありのままの私を取り戻すワークショップ…

2 事業の概要 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえて記載してください)

DV という言葉はすでに一般に浸透して、聞きなれたキーワードになっています。一般化してしまっているために、かえってその危険性が見逃されてしまう影響が危惧されます。児童虐待と同様に、渦中にある当事者は声を上げることができないのが実態です。本当に困っている人ほど「助けて」と声を上げることができません。当事者は孤立し、問題は潜在し深刻化していきます。被害者は日々何年もの長期間にわたり、精神的あるいは身体的、性的、経済的という複合的な被害の中に置かれています。日常的な見えない暴力の中では、自分の存在を肯定的に見つめることができなくなっている場合が多いのです。「助けて」と声をあげるために必要な自尊感情を失っていることが多いのです。潜在している問題を日の当たる場所に出していくためには、被害者を孤立させないことです。安全な場所で、安心して語り合うことは自尊感情を取り戻して自立する大きな力になるのです。「私だけではない」と知るだけで自分を取り戻すことができます。本来被害者自身には自ら問題解決への力があるのですが、日常的な暴力被害の中で貶められ続けては自身の力に気付くことができません。

- ① DVはみんなの問題であることを啓発します。
一部の加害者と被害者だけの問題ではなく、多くの傍観者を含めた社会の問題です。社会の中の見えない暴力について気付いていく視点を考えます。
- ② 公的相談機関の窓口が開いていない時間帯（平日夜、土日祝日）に活動します。
非正規雇用で働くことの多い女性が、休暇を取って平日の相談機関に出かけるのは大変にハードルの高いことなのです。
- ③ 資格取得者を講師に招いて新しいセルフケアを学びます。
自らを癒すにリラックスを身に着けることで、次への一歩の力を取り戻します。
起業間もない女性資格取得者の資格を活かせる場としても機能します。

私たちは2007年から平日の夜間や休日に語り合いの場を設けて活動してまいりました。定期的に同じ場所で開催することができると、参加者も安定して参加機会を増やすことができます。静岡市との協働から安心して安全な居場所の構築を願うものです。

3 協働して事業を行う際、貴団体の担う役割と静岡市に担って欲しい役割

わたくしたち考える会「ようこそ」が目指すものは、
ありのままの自分自身を認められるようになり、1人一人が自立した考えを持つようになることです。

そのために自信が持てるような多方面のプログラムを準備しています。

たとえば思春期向けデートDV防止教育プログラムを親世代に向けて開催しているのも、
その一策となるものです。

思春期の子どもたちへの保護者として対応を学ぶことで、

自身の毎日が対等に人権が守られているのかという振り返りをするようになります。

学びの中で家庭内の暴力に気付くと、

自分自身を守ってこそ家族を守ることができることを理解していきます。

思春期への正しい大人の対応はデートDVを防ぐだけでなく、

その後の不幸な恋愛に続くDV家庭からの児童虐待を防ぐことになるのです。

DV家庭で育った子どもがデートDVの加害者や被害者になることを防ぐことにもなります。

メンバーはそれぞれが、女性自身を高めるための資格を持って参加します。

(健康的なダイエットや色彩心理を用いたコーディネーター、ヘッドスパセラピストなど)

女性としてのライフスタイル全体を見直し、家族への対応も変わります。

女性が自分自身を取り戻すと、妻として母親として自立した考えを持てるようになります。

女性でも男性でもなく一人の個人として対等な立場で話し合えることは、

静岡市も掲げている男女共同参画社会への一歩となるものです。

2007年からのワークショップ活動ですが、

2015年度はCAP(子供を暴力から守る)活動の方とコラボしての企画でした。

暴力への啓発を前面に出したためか、この9年間で最も参加者の少ない一年となりました。

この経験を活かして今回の協働事業がかないましたら、

一暴力防止の問題がすべての人々の社会的問題としての啓発活動ができればと期待します。

なぜなら被害者と同じ数だけ加害者が存在し、

ほとんどの人は傍観者になっているという現実があるからです。

DVの問題は全ての人を対象の社会問題なのです。

わたし達考える会「ようこそ」は、身の丈に合った小規模な活動をします。

このような啓発事業は継続していくことが何より重要だと考えるからです。

静岡市にお願いしたいのは、

定期的開催できる安定した安全な場の提供と広報です。

語り合いの場が一部の限られた場でない開かれた場である印象を高めていただきたいと思います。

4 事業計画・実施スケジュール

日曜日の午後3時間ほど毎回3部構成

- ① 毎回スライドを用いた暴力防止啓発プログラム
- ② 元気になる参加型プログラム
- ③ 自由な語り合いの時間

新しい視点と今までと異なる考え方、多業種を知ることからの刺激で
ありのままの自分を受け入れて、もう一歩前に進む力を取り戻します。

グループの中で個別対応が必要な参加者で緊急性がある場合に、時間外対応をしています。
次の開催までの期間で公的機関へのリファー等、
警察生活安全課への同行や法テラスなど他機関の情報提供で問題解決に向かいます。
当事者とグループメンバーの安全を守ります。

基本的には女性に限定せず、
参加希望者は受け入れていく基本姿勢（ジェンダーフリー）を保ちます。

参加者の安全な場を確保することと、
参加者自身の振り返りの期間を持つために月一回をめどの開催としています。

具体的には添付資料

大切なわたしを考える会「ようこそ」H28年度事業委計画案に第6回までを企画しています。
ご参照ください。

5 実施体制及び主要スタッフの経歴

日本カウンセリング学会認定カウンセラー
静岡県 DV 被害者等専門相談員
aware デート DV 防止教育プログラム認定ファシリテーター
色彩心理カラーセラピスト
ATF1 級色彩コーディネーター
パーソナルカラーアドバイザー
ハンドリフレクソロジスト
ヘッドスパセラピスト
LifePages 認定トレーナー
日本肥満要望健康協会ダイエットアドバイザー
防災士、防災コーディネーター
宅地建物取引主任者
福祉住環境コーディネーター
ビーズインストラクター
ケアラーヘルスサポーター
パーミストリー他

2007年からコーチングとファシリテーションを取り入れた
グループカウンセリングを開催してきました。

参加者は、セルフケアテクニックで心身ともにリラックスする感覚を、
講師は資格を活かすことで双方向の高める場を構築していきます。

講師陣はいわばサバイバーと呼ばれる、生き延び乗り越えた体験者を含みます。
摂食障害を乗り越え回復した体験者や、DV家庭に育ったアダルトチルドレン、
DV離婚経験者等の面々は、
セルフケアを伝授しながら自らの生き方も語ります。

今回は男女参画の視点を取り入れて、
虐待やDVから身を守ることを安全な場で楽しく考えていきます。

6 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績、2年間継続することの効果など）

DVは犯罪です。

一度被害者となると加害者の怒りから逃れるために、常に加害者のご機嫌を伺う自信を犠牲にした生活をするようになります。加害者はまるで被害者であるかのような発言や態度を繰り返すことで、被害者を支配コントロールします。

「どうして大声を出させるんだ」「何もかもお前のせいだ」
こうした生活の中で被害者は常に自分が加害者のような錯覚を持ってしまいます。本当は被害にあっているのに「助けて」と言えない構図が出来上がるのです。DVの環境で逃げることでできない女性は愚かなわけではありません。強力な支配コントロールされた生活の中で、逃げる力を奪われているのです。こうした社会の中で見過ごされている見えない暴力に気づき、まずは自分の身を守ること、それを防いでいくこと、自分の考えを持つことを目指します。あらゆる暴力（DV、いじめ、虐待）の被害者、加害者だけでなく傍観者への啓発と防止、自立への一助となる語り合いの会「ようこそ」です。

グループカウンセリングの中で個別対応の必要な参加者には、警察への同行支援や自立援助をしてきました。若い女性参加者は結婚前のデートDVの状態から、健全な恋愛と結婚への実現者もいます。主訴は離婚希望の男性では、自らのDV加害に気付いて家庭に戻ることができた事例もあります。またDV被害からの鬱状態は希死念慮を招き、経済的問題が重なると更に死へ近づいてしまいます。

様々な経験の中で思うのは、虫歯と同じで予防が大切ということです。そして継続していくことが大切です。

静岡県のデートDV防止パンフレット「これって恋愛？」では、作成メンバーとして参加し言葉一つ一つにも皆で考慮を重ねました。

少人数のグループカウンセリングで場を深め、一人一人に配慮できることがカウンセリング効果を高めることになります。対面個別相談とは異なり、参加同士の磨きあいも期待できます。何より「自分だけではない」と知ることで孤立を防ぎ、問題が各家庭に潜在することを回避できます。

女性も男性も誰もが対等に活躍し、生き生きと元気な静岡市民に向かうことを目指します。

(様式3)

協働パイロット事業 (H28) 見積書

団体名：考える会「ようこそ」

企画のタイトル： 大切な私を考える会へ「ようこそ」…ありのままの私取り戻すワークショップ…

項目	金額	説明
施設利用料一式 プロジェクター、ホワイトボード等含む	12,000	@2,000×6
配布資料、茶菓子等	18,000	@300×10×6
講師謝金	30,000	@5,000×6
スタッフ交通費	18,000	@1,000×3×6
ポスターデザイン	5,000	
パネル作成、チラシ印刷	15,000	
ボランティア保険	1,290	@430×3
事務管理費	25,000	
その他 諸経費	14,599	
小計 A	138,889	
消費税 B = A × 0.08	11,111	
合計 A + B	150,000	
◎実費弁償契約の希望の有無	有	⊖

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途
参加費	¥1,000×参加人数	経費充当と次回への準備金補てん